

市場価格

ドル建て ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	903.70	2022/10/17
High	936.97	2022/10/21
Low	880.80	2022/10/20
Close	934.56	2022/10/21

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	4317.00	2022/10/17
High	4466.00	2022/10/21
Low	4242.00	2022/10/20
Close	4436.00	2022/10/21

ドル建て ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	2002.00	2022/10/17
High	2095.00	2022/10/21
Low	1960.00	2022/10/21
Close	2023.00	2022/10/21

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	9546.00	2022/10/17
High	10088.00	2022/10/21
Low	9400.00	2022/10/21
Close	9605.00	2022/10/21



ニュースエクスプレス

消費者の新車需要が減り、パラジウム需要の伸びが鈍化

2023年のパラジウム市場は、供給が回復するも需要は変わらず余剰となる見込み。

南アフリカでは、2022年の終わりにかけて加工工場の保守作業のために蓄積されていた在庫の一部が2023年上半期に加工される予定。

スティルウォーターの鉱山は今年初めに7週間の閉鎖で1.9トン(2E)の減産となっていたが平常に戻り、ロシア産のパラジウムも引き続き市場に供給されると見られている。

2022年の普通乗用車生産は僅かしか増えず、その分電気自動車がマーケットシェアを伸ばすため、世界の自動車のパラジウム需要は前年と変わらないか微減となるだろう。

普通乗用車の価格はさらに上がり、米国の8月の平均販売価格は前年比で11%高い4万8301ドルで再び過去最高となった(出典: Kelley Blue Book)。半導体不足で減産を強いられているメーカーは、利潤の少ない車種の代わりに利潤の多い車種の生産に集中している。

2022年第3四半期に供給不足が解消されるにつれて、過去にないほど低い水準だった在庫は回復しているが、それは生産回復を示してはいるものの、需要が微減していることも要因かもしれない。

新車購入のためのローンがなかなか組めなくなっており、また消費者の返済能力も低くなっている。米国では新車購入の80%以上は自動車ローンによるが、毎月の返済額は増えており、2022年第2四半期は前年比で15%近く多い667ドル/月。これは月収の中央値の15%に当たる。金利が上がって返済能力に影響しているだけでなく、ローン審査も厳しくなっている。その結果、予算が少なく信用スコアの低い消費者(ローンの金利が普通より高い消費者)は車を買えなくなっており、需要をより押し下げている。

消費者のローン返済能力は2023年にはさらに悪化し、自動車販売に影響するだろう。FEDは、米経済が鈍化していても目標率を上回る高インフレが続く限り、少なくとも年半ばまで金利をさらに上げ続け、これによって普通乗用車販売はさらに打撃を受けるだろう。

2023年のパラジウム市場は余剰となり、最終的には価格の引き下げに通じるはずだが、直近の市場はタイトのまま。米国の普通乗用車販売が現在の水準から10%下がれば、パラジウムの需要予測はさらに5.0トン減り、供給が回復する分市場はさらに余剰となるだろう。

プラチナ

新たに低コストのプラチナの供給源

南アフリカのPGM生産会社 Tharisa はジンバブエの Karo 鉱山開発を12月から始め2024年には完了すると発表。ジンバブエのグレートダイク深成岩体のPGM 鉱体は浅く、露天掘りが可能なため、南アフリカで多い地下深い鉱山採掘よりも低コストとなる。フル生産体制で、年間2.5トンのプラチナを含む6.0トンのPGM生産が可能。ジンバブエは世界のプラチナ生産の約10%を生産しており2022年の生産予測は15.9トン。ジムプラッツのMupani 鉱山と Bimha 鉱山の増産で、ジンバブエの年間生産は平均2%増える予測となっている。

ジンバブエの鉱山ロイヤルティーの半分は現物で。

ジンバブエのムナンガグワ大統領によると、この変更は貴金属と重要資源の国家備蓄を増やし将来の世代も含めた国民の利益のためとしている。今月からロイヤルティーの50%は現物で支払わなければならない。ジンバブエのプラチナ生産のロイヤルティーは現在2.5%で、2023年1月には倍の5%となる。精錬金属のロイヤルティ2.5%増はプラチナ0.4トン、パラジウム0.3トンに相当し、アフリカ南部の精錬生産高が多少減ることになる。

[https://www.heraeus.com/media/media/hpm/doc\\_hpm/precious\\_metal\\_production/en\\_6/Appraisal\\_20221017.pdf#msdynttrid=cAK-iWDdos\\_vvLcYup578Xy67CTGfI0WZqP3vdWIPsQ](https://www.heraeus.com/media/media/hpm/doc_hpm/precious_metal_production/en_6/Appraisal_20221017.pdf#msdynttrid=cAK-iWDdos_vvLcYup578Xy67CTGfI0WZqP3vdWIPsQ)

Translated by JBMA Osawa KAZUKO

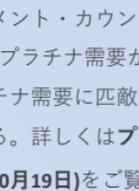
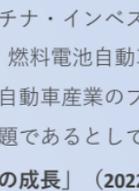


WPIC直近の活動

➤ ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル (WPIC) の最近のリサーチ\*では、燃料電池自動車のプラチナ需要が、今年93.3トン以上になるとされる自動車産業のプラチナ需要に匹敵する水準にまで拡大するのは時間の問題であるとしている。詳しくはプラチナ豆知識「中国の燃料電池自動車の成長」(2022年10月19日)をご覧ください。

<https://platinuminvestment.com/about/60-seconds-in-platinum/2022/10/19>

免責事項: 本資料は情報提供に過ぎず、WPICの投資提案を意図するものではなく、また、そのように解釈されるべきでもありません。



(@wpicjapan)